

令和3年度 自己評価および学校関係者評価書

令和4年3月22日
函館市立本通中学校

1 本年度の重点教育目標

自ら考え、表現し、共に創造する生徒の育成

2 本年度の取組の重点

- 【施策1】 ①探究型学習指導の充実 ②自尊感情、社会的スキルの伸長を目指した生徒指導
 【施策2】 ③キャリア教育の充実 ④よりよく生きるために道徳性を伸長する道徳教育
 【施策3】 ⑤一人一人の生徒が活きる学年・学級経営 ⑥社会に開かれた創意ある教育課程の編成
 【施策4】 ⑦CSを生かした家庭・地域との連携
 【施策5】 ⑧生徒と向き合う時間の確保と健康な職場づくり

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
施策1	①校内で取組を共有し、授業改善を推進することができたか。	b	授業改善の方向性と取組を全教員で共有する。	A	A	地域への情報発信の創意と工夫。
	②組織的な生徒理解と生徒指導を推進することができたか。	a		A	A	
施策2	③コミュニケーション能力育成に向け、計画的な指導を推進したか。	a		A	A	
	④心の響く道徳科の授業実践を推進することができたか。	a		A	A	
施策3	⑤支持的風土の醸成を実現することができたか。	a		A	A	
	⑥カリキュラムマネジメントを推進することができたか。	b	総合的な学習の時間の学習配列と地域教育資源の活用を重点に、⑦とも関連づけ、教育課程を整備する。	A	A	
施策4	⑦CSを生かした教育課程の編成を推進することができたか。	b		A	A	CSとの連携と協働。
施策5	⑧校務の効率化を実現することができたか。	a	コアチームを中心に、持続可能な取組を再編する。	A	A	

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。